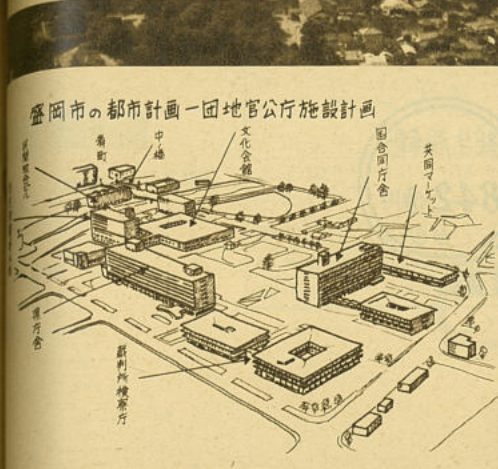
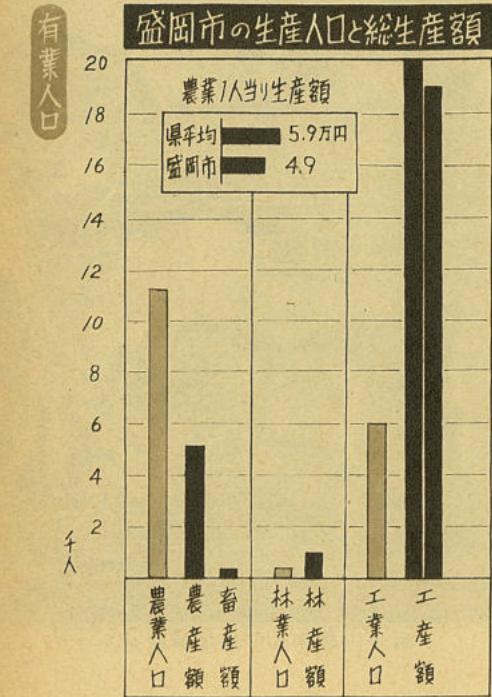




交通の中心—盛岡駅の改築及び駅前整備も計画されている。



盛岡市官公街（内丸附近）航空写真



北の農業とあ  
東七つある  
盛岡市  
厨川…写真  
は国立東北  
農業試験場



盛岡市の製菓工場

盛岡市は第三次産業都市、すなわち、政治、文化、教育、交通通信、商業の中心地である。人口十四万三千人のうち、有業人口は五万五千人である。その内訳は……

第一次産業人口 一一、七二六人  
第二次産業人口 八、九九一人  
第三次産業人口 三四、七〇四人

圧倒的に第三次産業人口が多い。

盛岡市の第一の課題は県都にふさわしい近代都市を建設することである。建設省では中小都市のモデル計画都市として盛岡市をとりあげている。上図はその設計図である。市ではそれを「官公庁施設の建設等に関する法律」の指定をうけ、実現しようとしている。

緑の芝生、清流中津河畔の公園、集約された官公庁ビル街、商店街など盛岡市の面目は一新されるであろう。

交通をみると、東北本線の復線工事は進み、盛岡以南が昭和三十五年度までには完成するという。また、同じ年までに盛岡以南の電化も計画されている。

すでに、山田線は復旧した。カラス列車といわれる山田線にはデゼルカーを通過するという運動も展開されている。盛岡市と秋田を結ぶ生橋線の不通区域二十四キロは、本年、新建設線に編入された。そして本年から調査を始めているので、建設開始も近く決るだろう。

長距離バスも盛岡市に集まっている。久慈、岩手、宮古、釜石、大船渡、湯瀬温泉（秋田県）湯本温泉（秋田県境）行がある。

また、教育の中心地でもあり、岩手大学、岩手医科大学をはじめ盛岡短大、十四の高校がある。スポーツも盛んで、県営グラウンド、黄金ラグビー場がすでに完成し、いまは屋内体育館の建設計画がすすんでいる。

盛岡市の西には「八幡平国立公園」、東には「陸中海岸国立公園」があり、市内には「つなぎ温泉郷」がある。

工業は釜石市につぐ工業人口と工産額をあげているが、いまだ消費財工業が圧倒的に多く、少年期の中小企業が多い。

註：工業の発展は、まず食料品、衣料品、製材木製品などの消費財工業が支配的である段階から、次第に工業化が進むにつれ、生産財工業が高まってくる。

盛岡市の主な工業生産額は食料品工業の十八億五千万円、紡績業の五億七千万円、印刷業の四億三千万円、製材木製品工業の二億四千万円であり、いずれも消費財工業である。

農業をみると、市の北に国立の東北農業試験場があるが、その近くに国立のタバコ試験場も新設されることになり、東北の農業センターとなりつつある。

県の農漁家振興計画には根田茂、土淵の二地区が指定され、新農山漁村建設計画助成地区に盛岡市西部が指定されている。また、盛岡市の西部は零石川用排水改良事業（特殊県営事業）区域に入っている。

盛岡市は第三次産業都市、すなわち、政治、文化、教育、交通通信、商業の中心地である。人口十四万三千人のうち、有業人口は五万五千人である。その内訳は……

第一次産業人口 一一、七二六人  
第二次産業人口 八、九九一人  
第三次産業人口 三四、七〇四人

圧倒的に第三次産業人口が多い。

盛岡市の第一の課題は県都にふさわしい近代都市を建設することである。建設省では中小都市のモデル計画都市として盛岡市をとりあげている。上図はその設計図である。市ではそれを「官公庁施設の建設等に関する法律」の指定をうけ、実現しようとしている。

緑の芝生、清流中津河畔の公園、集約された官公庁ビル街、商店街など盛岡市の面目は一新されるであろう。

交通をみると、東北本線の復線工事は進み、盛岡以南が昭和三十五年度までには完成するという。また、同じ年までに盛岡以南の電化も計画されている。

すでに、山田線は復旧した。カラス列車といわれる山田線にはデゼルカーを通過するという運動も展開されている。盛岡市と秋田を結ぶ生橋線の不通区域二十四キロは、本年、新建設線に編入された。そして本年から調査を始めているので、建設開始も近く決るだろう。

長距離バスも盛岡市に集まっている。久慈、岩手、宮古、釜石、大船渡、湯瀬温泉（秋田県）湯本温泉（秋田県境）行がある。

また、教育の中心地でもあり、岩手大学、岩手医科大学をはじめ盛岡短大、十四の高校がある。スポーツも盛んで、県営グラウンド、黄金ラグビー場がすでに完成し、いまは屋内体育館の建設計画がすすんでいる。

盛岡市の西には「八幡平国立公園」、東には「陸中海岸国立公園」があり、市内には「つなぎ温泉郷」がある。

工業は釜石市につぐ工業人口と工産額をあげているが、いまだ消費財工業が圧倒的に多く、少年期の中小企業が多い。

註：工業の発展は、まず食料品、衣料品、製材木製品などの消費財工業が支配的である段階から、次第に工業化が進むにつれ、生産財工業が高まってくる。

盛岡市の主な工業生産額は食料品工業の十八億五千万円、紡績業の五億七千万円、印刷業の四億三千万円、製材木製品工業の二億四千万円であり、いずれも消費財工業である。

農業をみると、市の北に国立の東北農業試験場があるが、その近くに国立のタバコ試験場も新設されることになり、東北の農業センターとなりつつある。

県の農漁家振興計画には根田茂、土淵の二地区が指定され、新農山漁村建設計画助成地区に盛岡市西部が指定されている。また、盛岡市の西部は零石川用排水改良事業（特殊県営事業）区域に入っている。